

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第42号 平成24年12月8日

来期が楽しみな光希のマウンド！

走者一掃の2発で勝負は決定！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
A	0	0	0	0	1	0	0	1
G	3	4	1	0	0	0	0	8



12/8日(土)今期最終戦に、あしたばを、川崎多摩スポーツセンターに迎え行った。非常に風が強く、プレーヤーですら油断をすれば、すぐに体が冷えてしまう、というコンディションの中、ゲームは始まった。先発は、光希がマウンドに上がりプレイボール。その入りはストライクから。結果最初の打者を見逃しの三振に斬り、後続も前へ飛ばさない投球で初回を終えた。その裏、既に公式戦が終了している事から、焦点は個人成績にかかる。結果、主将は普段に無いオーダーを組んだ。今日一番に入ったのは、祐太、しかし、ストレートの四球で出塁、そして二番の深沢が右前に落す。続く哲也は四球で無死満塁としたところで、四番のこーすけが右越に2ベースを放ち、初回から三点を先制した。翌2回のマウンドも光希は安定しており、結果4回でマウンドで降りたが、一人の打者も出塁を許さず、パーフェクトの内容でマウンドを降りた。続く2回の攻撃は、その光希が2ベースで出塁、その後、犠打を試みたが、相手守備の失策で一挙三塁を回った光希がホームインし4点目、先頭は倒れ一死となったが、深沢が走者が走ったのを確認し、右方向に打った打球が相手守備の失策を誘い、一死二・三塁、この場面では哲也が二球目を強振、打球は左中間に消え、スリーランホームランで、序盤で7：0と大量リードに代わった。三回にも、光希が2ベースで出塁、その後、祐太のタイムリーで生還し8：0とした。5回からマウンドに上がった津脇は、三本の単打で1点を失点したが、課題の四球はマウンドを降りる2回において出さなかった事は、及第であろう。そして、三番手に上がった政司は、一四球を出したが、こちらは安打を許さず1回を難なく抑え、投手陣も盤石であった。終わってみれば、大勝したように見えるが、中盤以降の中だるみ感は、若干不満の残る内容である。しかし、公式戦なら、コールドの可能性も大なので、まー、良しかも知れない。

そんな最終戦の中で、懸命にアウトにしようとしたプレイが光った。

- 4回の先頭打者の打球は、大振りしては、ダメだと判断したか、バントでの出塁を試み、これに素早く反応した光希が素早く一塁に送球し、アウトにした。非常に体幹を必要とするプレイなので、能力の高さを感じた。
- 5回の先頭打者の打球は、センターの前に運ぶ打球、通常なら安打として認識し、二塁に返球するのが、一般的であるが、今日センターに入ったたかあきは、一気にファースト目掛け送球した。結果、バウンドが逸れてしまったので、セーフとなったが、非常に面白いプレイである。

最後に、チームとしては躍進したように感じたが、やはり最後には若干・・・という気持ちを持ったメンバーもいるだろう。来期は、その・・・が内容にスタートからメンバーで考えチームでプレイしよう！1年間お疲れ様でした。